



うみかぜ 海風



御前崎港管理事務所だより168号(R5.12)



御前崎港「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」

令和5年11月22日(水)、御前崎港西側の久々生・新庄(くびしょう・しんしょう)海岸において、港内で活動する官民各種団体による総勢50名で、御前崎港「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」として、海岸清掃を行いました。

この海岸には、大気中の二酸化炭素(CO2)を吸収するブルーカーボンとしても注目され、本県指定の準絶滅危惧種である「コアマモ」が自生し、さまざまな生物を育む海のゆりかごを形成しており、清掃後にはマダイの稚魚500匹の放流も実施しました。

参加団体：NPO法人Earth Communication(港湾協力団体)、御前崎港港湾建設工事安全協議会、御前崎市、牧之原市、国土交通省清水港湾事務所、静岡県御前崎港管理事務所



清掃作業の様子



放流の様子



マダイの稚魚



参加者全員で記念撮影

地元中学生が海岸を清掃！



野球部員による作業の様子

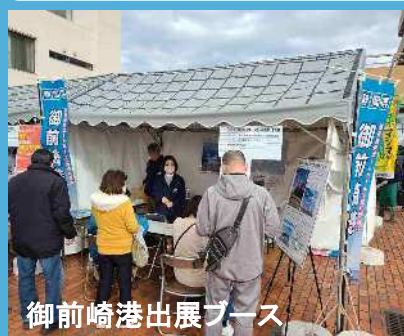


集めたゴミと記念撮影
皆さん、ありがとう！

御前崎中学校野球部は、奉仕の心を育て、地域に対する愛着と関心を深めることを目的として、令和5年11月26日(日)、部員と父兄含め総勢60名でマリパーク御前崎の海岸清掃を行いました。

御前崎港管理事務所では、引き続き地域の皆様と連携して、海辺の環境保全に取り組んでまいります。

御前崎市大産業まつりに参加



御前崎港出展ブース

今年で17回目となる「御前崎市大産業まつり」が、11月25日(土)と26日(日)両日に市役所周辺で開催されました。

当日は、御前崎港ポートセールス実行委員会も出展参加し、御前崎港のPRを積極的に行いました。

エコパークの花紹介

ツブブキ(石蓼ノキク科)



海岸近くの岩場などに自生し、初冬に黄色い花を咲かせ、昔から民間薬や食用野草として広く知られております。

花言葉のひとつにある「困難に負けない」は、日陰や寒い冬でも緑の葉を絶やさず、明るい色の花を咲かせる姿に由来しています。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。